

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1254号	氏名	角田 順久
論文審査担当者		主査教授	小路 武彦
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	松山 俊文
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、慢性拒絶の一形態と考えられる閉塞性細気管支炎の解明を目的として、異所性気管移植モデルを用い、慢性拒絶への MIF (macrophage migration inhibitory factor) の影響を検討したもので研究目的として妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ラット異所性気管移植モデルを使用し、移植後継時的に検体を採取し MIF mRNA 発現を RT-PCR 法で検討すると共に、抗 MIF 中和抗体の有無による慢性拒絶への効果を移植片の気管上皮の高さと気管内腔閉塞度を指標として検討したもので研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>以上の検討の結果、抗 MIF 中和抗体の腹腔内投与により有意に気管上皮障害の抑制と気管内腔閉塞を減少させることが判明し、MIF 機能の抑制により遅延性過敏反応を通して起こる肺移植慢性拒絶反応を抑制できる可能性を示唆した点、これらの研究結果と考察内容は高く評価できる。</p>			
<p>以上のように、本論文は閉塞性細気管支炎の病態解明と制御に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			